

珠玉の演奏とともに魅惑の邦楽世界をやさしく紐解く30名様限定サロン
茨木市在住の箏曲家・横山佳世子がご案内します
年4回のシリーズにどうぞご期待ください

Vol.1

現代邦楽の父・宮城道雄

お正月の定番音楽「春の海」は、宮城道雄(1894～1956)の代表作です。宮城道雄は幼少の頃に病気で失明し、箏の道に進みました。天才箏曲家として名演奏はもちろんのこと、作曲、楽器考案、東京音楽学校での教授、初心者のための教則本などの楽譜出版、また、随筆の名手でもあり多数を出版するなど、その活動は多才を極めました。また、宮城道雄が起こした「新日本音楽」というルネッサンスによって、新しい邦楽世界が確立されたのです。まさしく現代邦楽の父。今年は宮城道雄の生誕120年の年。この邦楽サロンで、箏の魅力―宮城道雄の軌跡を、皆さんと一緒に辿ってみたいと思います。

◆演奏曲目

水の変態―歌・箏本手、歌・箏替手

瀬音―箏・十七絃

三つの遊び―箏独奏

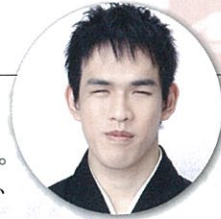
手事―箏独奏

衛兵の交替―箏独奏

◆ゲスト～澤村祐司

生田流箏・三絃を金津千重子に師事。
東京藝術大学音楽学部邦楽科を経て、
同大学院修士課程修了。

「第2回八橋検校日本音楽コンクール」にて八橋検校賞受賞。
朗読ミュージカル「山崎陽子の世界」にて、物語「葉桜の頃」
「みそかの月」の作曲を手掛ける。熊本県立松橋西支援学校の
校歌作曲。財団法人地域創造「平成22年度邦楽地域活性化
化事業」に参加。詩と音楽のコラボレーション集団「VOICE
SPACE」代表、邦楽ユニット「箏七星」メンバー、宮城会・重
音会・森の会 所属。



◆演奏とお話し～横山佳世子

茨木市出身。10歳より故沢井忠夫に生田流箏曲および現代邦楽を師事。東京藝術大学音楽学部卒業後(在学中には常英賞受賞)、同大学院音楽研究科修士課程修了。平成3年、日本伝統文化使節団としてのベルギー公演を機会に演奏家を志す。平成5年、NHK邦楽オーディション合格。平成12年、第1回リサイタル開催。平成13年度大阪府舞台芸術奨励新人賞受賞。東京藝術大学音楽学部非常勤講師(平成15年～平成18年)。平成17年度文化庁新進芸術家国内研修生。京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター非常勤講師(平成18年～平成21年)。平成20年度京都市芸術文化特別奨励者。第9回(平成20年度)邦楽技能者オーディション合格。平成20年度文化庁芸術祭音楽部門において芸術祭賞新人賞を受賞。平成24年度文化庁芸術祭音楽部門において芸術祭賞優秀賞を受賞。現在、鳴門教育大学非常勤講師として、小中学校の音楽教諭を目指す学生または現役教諭に箏曲の実技と理論を指導する他、箏・三味線が現代社会でメジャーな楽器となるべく教授活動と普及活動を多方面にて展開。これまでのべ11回のリサイタルを開催する他、海外公演やラジオ出演など多数。ビクターより主演CD「生田流箏曲 横山佳世子(VZCF-1021)」を販売中。卓越した技術と豊かな表現力をあわせ持ち、邦楽界の今後を担う一人として、古典から現代まで幅広く演奏活動を広げる。

平成26年 6月25日【水】14:00開演(13:30開場)

茨木市市民総合センター クリエイトセンター3階・304号室

茨木市駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726/JR茨木駅から東へ、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

◆入場料1,500円 ◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き

*定員30人 *自由席 *前売完売の場合、当日券の販売はございません *就学前のお子様はご遠慮ください

◆4月25日(金)9:00予約開始 *発売初日はインターネット・電話予約のみです。残席がある場合は翌日から窓口販売いたします。

◆チケットのお申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係☎072-625-3055(市民会館1階 9:00～17:00)

インターネットチケット www.ibabun.jp

*予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターで精算ください。チケットの引取り・窓口販売は発売翌日からです。

●ユーアイホール(9:00～17:00) ●クリエイトセンター(9:00～17:00)

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送手数料400円)を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。

手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。(払込口座)00970-7-190576/加入者名:茨木市文化振興財団

◆主催:公益財団法人茨木市文化振興財団

◆後援:茨木商工会議所/茨木市観光協会

★次回予告 9月3日(水)14:00 Vol.2 地歌・箏曲～山田流と生田流の聞き比べ

7月3日(木)予約開始

横山佳世子の

邦楽サロン

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE